

令和3年度 香川大学における教育の内部質保証の実施結果について

令和4年1月28日

教育戦略室

1 教育課程に関するもの

全学の責任者

理事・副学長（教育担当）

部局が実施した自己点検・評価の内容を確認し、必要な改善指示を行う組織

全学教務委員会

主な改善点等

【学士課程】

項目番号	6-6-3-a
チェックポイント	学習成果の評価の方針に照らして成績評価の分布の点検を組織的に実施している
改善指示内容	一部の部局において、授業科目の成績分布（GPC等）について、組織的な情報共有・点検（教授会、委員会または同一領域の教員間等）ができていなかったため、改善を要求した。

項目番号	6-8-3
チェックポイント	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること
改善指示内容	創造工学部以外は、卒業時のアンケートを実施していなかったが、隔年実施しているカリキュラムアンケートの最終学年の集計データにより代替可能であることが判明したため、年度内に分析を行い、教務委員会へ報告することとした。

【大学院課程】

項目番号	6-6-3-a
チェックポイント	学習成果の評価の方針に照らして成績評価の分布の点検を組織的に実施している
改善指示内容	一部の部局において、授業科目の成績分布（GPC等）について、組織的な情報共有・点検（教授会、委員会または同一領域の教員間等）ができていなかったため、改善を要求した。

項目番号	6-8-4
チェックポイント	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られている。
改善指示内容	専門職大学院以外の部局は、これまで修了後一定期間の就業経験等を経た修了生からの意見聴取を実施していなかったため、本年度から教学 IR 部において実施要領を作成し、アンケートを実施することとした。

2 施設及び教育設備に関するもの

全学の責任者

○施設 理事・副学長（施設・財務担当）

○教育設備 理事・副学長（教育担当）、副学長（学生支援・広報特命担当）

部局が実施した自己点検・評価の内容を確認し、必要な改善指示を行う組織

○施設 施設マネジメント委員会

○教育設備 全学教務委員会、学生支援センター会議

特筆事項なし

3 学生支援に関するもの

全学の責任者

副学長（学生支援・広報特命担当）

部局が実施した自己点検・評価の内容を確認し、必要な改善指示を行う組織

学生支援センター会議

特筆事項なし

4 学生の受け入れに関するもの

全学の責任者

理事・副学長（教育担当）

部局が実施した自己点検・評価の内容を確認し、必要な改善指示を行う組織

アドミッションセンター会議

【学士課程】

項目番号	5-2-1-c
チェックポイント	学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること 実施体制の整備状況（組織の役割、構成、人的規模・バランス、組織間の連携・意思決定プロセス・責任の所在等）は適切である。
改善指示内容	一部の部局において、入試委員会に関する規程が整備されていなかったため、改善を要求した。

項目番号	5-2-2
チェックポイント	入試に関する研究委員会等、検証するための組織が整備されており、具体的な取組等（改善のための情報収集等の取組を含む。）がなされている。
改善指示内容	一部の部局において、入試の検証を行う組織体の規程が未整備な状態にあり、改善を要求した。

【大学院課程】

項目番号	5-2-1-b
チェックポイント	学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること 面接が含まれている場合は、面接要領等がある。
改善指示内容	一部の部局において、面接の評価基準が明文化されていなかったため、改善を要求した。

項目番号	5-2-1-c
チェックポイント	学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること 実施体制の整備状況（組織の役割、構成、人的規模・バランス、組織間の連携・意思決定プロセス・責任の所在等）は適切である。
改善指示内容	一部の部局において、判定を行う会議体、組織にかかる規程が未整備の状態にあったため、改善を要求した。

項目番号	5-2-2
チェックポイント	入試に関する研究委員会等、検証するための組織が整備されており、具体的な取組等(改善のための情報収集等の取組を含む。)がなされている。
改善指示内容	一部の部局において、入試の検証を行う組織体の規程が未整備な状態にあり、改善を要求した。